

項目	1 学習指導について	2 生徒指導について	3 進路指導について	4 特別活動について
重点年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的な学びを促進させる授業展開の工夫一発間、ICT活用、授業形態の効果的な在り方（授業改善重点事項） ○主体的・対話的な深い学びの観点からの授業改善と評価（教務） ○総合的な探究の時間（D-Time）の実践による生徒の「育てたい資質・能力」の育成（探究） 	<ul style="list-style-type: none"> ○品位のある整容と態度、公共の場におけるマナーの徹底 ○交通ルールの遵守、安全指導の徹底 ○自己管理能力の育成（情報モラルの高揚、携帯電話・スマートフォンや貴重品等の管理） 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒と職員の進路意識を高めるための雰囲気作りや進路行事の充実 ○生徒の自己管理を促し、将来の職業を見据えた指導・学年や他の分掌と連携して学校全体で職業観を育てる ○家庭学習の充実、徹底、共通テスト対策 ○面接指導の充実 ○進路実現のための個人指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒会活動、学校行事の充実 ○10周年記念事業の円滑な運営
実施状況・達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習の習慣化は難しかったが、考査2週間前には範囲を発表して対策させるなどの意識を高めることができた。（1年部） ○自学の様子や課題提出を見と基本的学習習慣や生活習慣等、概ね身につけてきたと認められる。探究活動は、クラスの枠を越えた新しい取り組みとして機能し始めている。（2年部） ○①各教科の週末課題、②オンライン学習の課題配信、③毎週の英単語テストの実施、④ICTを活用して生徒の興味関心を引き出す授業、⑤期学習での各教科課題と公務員演習、⑥土曜講座の自学自習、⑦放課後補習、⑧長期休業中の補習、⑨講師によるセミナー等、生徒の学力向上を目指して取り組むことができた（3年部） ○漢字検定や各種コンクールへの挑戦を動機付けにして学習に取り組むことができた。（国語科） ○ICT機器（電子黒板、タブレットなど）を活用した授業を行った。（地歴公民科） ○黄チャートの書き込み問題集やオンライン学習等、場面に応じて効果的に活用できた。（数学科） ○オンライン学習やその他の動画を使いながら、学習に取り組ませた。（理科） ○今年度も消防署の協力を得て、救急救命講習（1年生）を実施することができた。（保健体育科） ○（美術）社会人講師による日本画講習会・秋田県美術展覧会出品・明るい選挙啓発ポスター出品など多くの活動に取り組んだ。（音楽）歌曲の歌唱表現について演奏者による表現の違いを比較することで自分の歌唱表現の工夫を生かした。（芸術科） ○（1年）ベシックレベルの英単語テストを定期的に行ったり、既習の文法事項について朝学習プリントを活用したりして、発信力を高める礎を築いた。（英語科） ○専門教科では、社会人講師を活用した科目もあり、生徒の興味・関心を高めること、知識の深化を図ることができた（家庭科） ○（情報）学習支援プログラムを活用して授業を進めている。（商業）商品開発班、プランニング班はタブレットを活用して教員と職員でファイルを共有し研究を進めることができた。（商業・情報科） ○探究部会を開いて各学年の進捗状況を確認・把握して各学年の指導に生かすことができた。（探究部） 	<ul style="list-style-type: none"> ○始業式や衣替えの時期に各学年で整容指導を実施した。観覧会や角館のお祭りの巡回指導を実施し、生徒の規範意識を高めることができた。 ○春秋の街頭指導・交通安全教室を実施した。秋の街頭指導は、「1声・マナーアップ運動」も一緒に、PTA役員も参加したことで保護者の意識も高めることができた。 ○交通安全委員会による自転車点検を行ったことで、交通安全への意識を高めることができた。 ○終業式や学年集会でスマホ等の使い方に関して注意喚起した。いじめアンケートは2回実施した。未然防止、早期発見・早期解決につながった。 ○毎朝、登校指導を行ったことで、挨拶・整容・時間厳守への意識が高まった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今年度の大学模擬講義では23の学問カテゴリー、4つの就職・公務員セミナーを開催、生徒の知識欲を刺激し、教養の幅を広げ、進路意識の高揚という目標はある程度達成できた。1年生の大学訪問を10月に実施。訪問大学は限られたが、1年生の早い段階から大学進学へのイメージをもたせることができた。進路講演会を各学年で実施。文理選択のための1年生の実施期が少し遅かった。 ○保護者と中小企業の経営者による就職模擬面接、校長と教頭から公務員対策面接を実施。緊張感をもたせ、かつ有益な助言がもらえる機会となり、就職の面接結果は良好だった。 ○チューター制を利用して3年生の進路指導にあたった。3年部との連携もうまくとれていた。昨年度よりも国公立の推薦・総合型の合格者数を増やすことができた。3年部、特に担任の負担の軽減にも繋がった。今年度も職員の小論文研修会を実施。継続して実施することで職員の指導力向上に繋がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 4月 生徒会入会式、生徒会委員会、応援歌練習、生徒総会、バレーボール招待試合 5月 壮行式 6月 野球招待試合、角高祭 7月 野球応援、1年生駒ヶ岳登山（9月に延期） 8月 球技大会 9月 運動会 10月 芸術鑑賞、生徒会役員選挙 1月 生徒会委員会 2月 スキー教室（1・2年生）
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○先生方の声かけや見回り、教室の施設等により、自己管理能力を促すきっかけとなった。（1年部） ○探究活動の一環として秋田県高校生探究発表会に参加したことは、学びが深まり、生徒にとって良い経験となった。（2年部） ○オンライン学習の講座を自主的に取り組んでいる生徒が一定数おり、志望理由書や活動報告書の作成にも役立てることができた（3年部） ○ドキュメントを活用した志望理由書や小論文の添削指導は即時性や共有性が高く利点もあった。（国語科） ○ICT機器については、その効果と弊害をしっかりと検証しながら活用していかねばならない。（地歴公民科） ○学び合いは効果的であったが、学力格差の大きいクラスの授業や展開の仕方についてよく考える必要があると感じた。（数学科） ○動画をうまく活用することで生徒が意欲的に学習に取り組む場面が増えた。（理科） ○ダンスの授業では、タブレット端末を有効活用することができた。（保健体育科） ○（音楽）生徒一人一人が幅広い可能性に気づき、自他の見方や感じ方の相違などを理解し他者の考えを尊重する態度も養えた。（音楽）キーボードアプリを活用し、ピアノ演奏に取り組みやすい環境を整えることができた。（芸術科） ○（2年）スピーキング活動を重視することで、L.R.Wも付随的に向上することの裏付けになった。（外国語科） ○消費者教育や金融教育について、指導者側の研修が必要であると感じた。（外部機関との連携）（家庭科） ○（情報）プログラミング等は演習を取り入れながら、知識技術の定着に力を入れた。（商業）資格取得については、関心が高く授業に対しても意欲的であり上級資格への取組を奨励していきたい。（商業・情報科） ○外部と連携したり、協力を依頼したりする班も多くあったが、その際の指導が必要（探究部） 	<ul style="list-style-type: none"> ○金銭、貴重品等の紛失があった。管理意識を高める指導が必要である。 ○保護者や交通安全委員の協力のもと、街頭指導等を行い、課題を共有することができた。 ○スマホ・タブレット等の不適切な使用などが見られる。 ○依然として落とし物が多い。 ○各学年・生徒指導部で、昼休みや放課後に巡回指導を定期的に行い、トイレでのスマホの使用などを未然に防ぐことができた。 ○整容について引き続き指導が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路講演会や大学模擬講義などの行事では、生徒の進路意識を高めたという目標はある程度達成できた。これらの行事では講師の力量で生徒へのインパクトが変わってくる。業者に仲介してもらうことで職員負担も軽減されているが講師の選定には十分な配慮が必要。準備が遅れて講師の確保が難しくなっているのは反省すべき点がある。 ○夏の特別セミナーでは代替の英語と数学の講師を招いた。来年度は本校の生徒の能力に合った講師を招きたい。年々講習する生徒数が減ってきているので受講料の高騰が心配。 ○就職・公務員では就職の内定率が特に高かった。求人倍率が高い影響もあるが、学年部や就職支援員、進路指導部と連携がとれていた。公務員では国家・県職ともに苦戦を強いられた。就職とはいえず、まずは一次試験を突破できる学力はしっかり付けさせたい。 ○ここまでの推薦、総合型の国公立大志望者の結果は順調である。国公立志望者があきらめず志望を貫いてくれたことが大きい。共通テストでは今年度も苦戦が強いられ、努力しても成果に繋がらない生徒に申し訳ない気持ちだ。各教科の共学対策を強化したい。 ○生徒数が減少してきて全体的な学力の低下は避けられないが、国公立大等上位大学への進学希望者の層は一定数いるので浮きこぼれがないように、各学年ごとに適切な指導を心がけたい。 ○進路指導部会をもっと開催して情報交換を密にしていかなければいけない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○10周年記念事業は、応援練習の成果もあり、非常に盛り上がった。ホームページにおいてもうまく発信できた。 ○生徒会執行部や各委員会が主体的、積極的な動きが見られた。 ○体育科や特定の職員に大きな負担がかかってしまった。
評価	B	B	B	B
次年度への提言	<ul style="list-style-type: none"> ○より具体的な指示での指導が必要な場合がある。（1年部） ○普通コースと特進コースの生徒が混在したクラスへの授業や進路活動への指導の工夫。（2年部） ○オンライン学習のような自学用コンテンツをそれぞれの習熟度に合わせたもっと効果的に活用させていく工夫が必要。（3年部） ○新傾向問題に対応できる読解力の育成（国語科） ○ICT機器の活用については、ハード面だけでなく、ソフト面の充実が必要。（地歴公民科） ○Aコース普通での問題集の精選が必要。（数学科） ○実験は知識の確認や定着に有効であり、実験の有用性を生徒にも伝えていくことが必要。（理科） ○救急救命講習会の継続実施。（保健体育科） ○（美術）美術館などの公共施設や地域との連携などを活用し、学びの多い授業を展開していきたい。（音楽）楽器演奏にも関心の高い生徒が多いので、表現と鑑賞のバランスの取れた授業を展開していきたい。（芸術科） ○大学入試本番で力を発揮させるために解答時間やリスニング速度に負荷をかけて演習することも必要。（外国語科） ○社会人講師の活用（調理、着付け、消費者・金融教育）。（家庭科） ○（情報）情報Iの研修の推進と共通テスト対策。（商業）出前講座実施と地域企業との関わりを大切にする。（商業・情報科） ○アクチュアルの利用方法についての職員研修会。（探究部） 	<ul style="list-style-type: none"> ○全職員による指導の徹底。 ○スマホ・タブレットの使い方・ルールに関する指導の継続。 ○貴重品等の管理への指導。 ○自転車運転時のヘルメット着用を促す指導。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路行事等では年度当初にしっかりと計画を立て、係分担をはっきりさせることで行事の効果が最大限に発揮できるようにすること。 ○学校行事等が多すぎて学習に集中できないという意見もあるので行事の見直し、精選が必要。 ○学力層に開きがあるので個別の学習指導や個々の面談を繰り返し、生徒の実態を把握し、生徒個々の実情に合わせた指導を行うこと。 ○土曜学習会や特別セミナー、補習等を積極的に活用させ、上位層の伸び悩みをなくすこと。 ○入試の過去問や受験レポート等を今後の指導に生かせるようにデータの整理し、蓄積すること。 ○チューター制を利用して組織的に一人一人の受験を支えるためにも各学年でこの制度の利用の仕方を議論し有効に活用すること。 ○学習支援の一環として各学年がオンライン学習を活用。すべての生徒が十分に活用できたとは言い難い。生徒に強要させる要素がないので生徒自らコンスタントに活用する指導とその工夫が必要である。できるだけ多くの教員が利用してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○行事の見直しの声が上がっている。今一度実施の意義を確認し、予算や日程、内容などについて検討していく必要がある。 ○中学生や保護者に対するアピールとして、ホームページをもっと活用する必要がある。
御意見・御感想	<ul style="list-style-type: none"> ○学年、教科それぞれで目標を持ち、その達成に向かう指導は素晴らしい。 ○公的な場で発信できる生徒を育ててほしい。授業は学校において公的な場である。公的な場であることが意識される発表・意見の表明の姿勢等はある程度維持されるべき（令和だからこそ）。 ○学校評価アンケートによって職員や保護者と比べ生徒の満足度が前年よりも低くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業後も日常での生活の中では「あいさつ」がとても大事になっていくことを言い伝えてほしい。 ○問題行動が無いわけではないが、自分を粗末にしているような生徒は町でも見かけない。「自分を大切に」ということは生徒に通じているように感じる。 ○学校評価アンケートで生徒・保護者ともに安全等に関する項目に関心があるようなので、注視した方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年度の就職進学の結果が充実していることは素晴らしい。先生皆さまのご指導の賜と思う。 ○個別最適な進路指導がされているように数字からうかがえる。校長先生は校訓を大切にされているので、生徒は進路実現を通して校訓を捉えてくれると嬉しい。 ○県内就職の情報提供を充実させてほしい。 ○学校評価アンケートで3年生の生徒の満足度は上がっているようだが、2年生が低く、不安があるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各種行事については人それぞれ、実施後に残るものが違うと思うが、やる時にはベストを尽くして行えることが大切だと思う。 ○校外で活動している生徒に話しかけたり問いかけたりすると、活動の目的や目標を明確に答えてくれた。日常の特別活動の成果と感じた。 ○学校評価アンケートで生徒の満足度が低いのが気になる。
評価	A A B B B	A A B B B	A A A B B	A A A B B
学校運営意見全般・御感想その他	<ul style="list-style-type: none"> ○学校評価アンケートでの生徒・保護者の回答率が低い。関心が薄い、評価すべき情報が足りない等々、多様な要因が考えられる。アンケート回収方法等の検討が必要。 ○生徒による学校評価について、各学年に一定数のD評価がある。多様な観点をもって評価していることで「0」であることが必須ではないにしても、一定数のD評価が特定の生徒からではないことが大切。 ○～を身に付けないままとか、～ができないまま入学した（させた）という意識が垣間見られるところがあるように感じた。今、目の前にいる生徒はこうすれば育つ、ということをもっと肯定的に考えて育ててもらえるとありがたい。 ○本年度の高校入試の志願倍率の低さに驚いた。学校を選ばず、選ばれる魅力づくりが必要。たとえば仙北市ではI.T系企業が誘致され、そこで働く若い人材が求められていることや、インターナショナルスクールの誘致が決まり、生徒や家族の方の来訪も増えて、今後は英語力を必要とする職業が増えてくることから、資格が取れる専門の学科（I.T、福祉、看護、英語など）の新設なども検討する必要があるのではないかと。 ○地域の学校としての位置付けも必要。伝統行事や歴史・自然の豊かさなどの理解を深め、地域に対する愛着や誇りを持っていくようになってほしい。 ○生徒数の減少に伴って職員数も減らさざるを得なくなるが、やることは変わらない中で各分掌とも目標達成のために頑張っている様子がよくわかった。今後も状況はますます厳しくなっていくと思うが、角館高校は生徒も先生も頑張っていることをアピールして、中学生には角館高校を選んでもらえるように願っている。 			

令和6年度 生徒による学校評価アンケート

令和6年12月実施

※数値はA「とてもそう思う」B「まあまあ思う」の合計%

項目	番号	評価内容	R06	R05	R04
学校の説明	1	学校は、教育目標や教育方針について、分かりやすく説明していると思いますか。	80.9	83.5	80.1
	2	学校は、学習や行事、活動の予定について日ごろから十分説明していると思いますか。	88.9	85.9	87.6
	3	学校は、学校のよさや特色について、保護者や地域にも十分説明していると思いますか。	72.6	71.9	70.4
HR経営	4	教師は、人間関係を大切に、いじめのないクラスづくりに心がけていると思いますか。	83.9	84.9	81.7
	5	教師は、規律あるクラスづくりをしていると思いますか。	90.3	90.6	88.1
	6	教師は、誰にでも公平に接し、相談などにも真剣に対応してくれますか。	85.3	85.9	81.8
	7	教師は、クラスにトラブルがあったとき、適切に対応してくれますか。	87.3	85.1	84.7
	8	教師は、学習や行事に対してやる気を起こさせる雰囲気をつくっていると思いますか。	87.3	87.4	86.6
授業や学習	9	教師は、1時間ごとに目標や課題をはっきりさせた上で授業を進めていますか。	85.0	87.8	91.4
	10	教師は、生徒の理解を助けるために、分かりやすい授業を工夫していますか。	85.0	88.8	87.9
	11	教師は、生徒の習熟度を常に把握し、一人一人にきめ細かい対応をしてくれていますか。	69.6	75.4	72.1
	12	教師は、授業において考える場面や話し合う場面、発表する場を設定していますか。	92.9	93.1	95.8
	13	教師は、取り組みやすい内容や量の宿題や課題を与え、生徒の家庭学習を促していますか。	76.3	78.4	86.8
進路指導	14	教師は、進路指導の計画や内容を分かりやすく説明していますか。	86.9	90.0	87.4
	15	教師は、進路実現のために必要な資料や情報を十分提供してくれていますか。	92.6	92.3	91.2
	16	教師は、面談や補習、模試等を充実させ、進路実現に熱心に取り組んでくれていますか。	92.6	91.4	92.7
	17	教師は、様々な進路活動を通して、働く意義や学ぶ意義を考えさせる指導をしていますか。	85.7	88.6	89.2
生徒指導・危機管理	18	学校は、生活のルールを守らせるための指導に十分取り組んでいると思いますか。	91.0	90.4	89.6
	19	教師は、問題行動やトラブルに十分対応していると思いますか。	85.3	83.7	83.1
	20	学校は、生徒の安全を守るため、注意喚起や巡回指導等に十分取り組んでいると思いますか。	91.9	91.7	89.1
	21	学校は、事故や災害、伝染病などが一の場合に対応する体制を整えていると思いますか。	77.9	82.5	80.7
特別活動	22	学校は、生徒が充実した学校生活を送れるような行事を計画し、実施していますか。	85.5	85.3	83.5
	23	学校は、部活動の活性化を図り、充実した指導ができるよう取り組んでいる。	85.9	83.9	81.9
	24	学校は、生徒会活動の自発性、自主性を補償している。	73.5	80.9	78.8
保健・教育相談	25	学校は、校舎内外の整備や美化活動に十分取り組んでいると思いますか。	84.6	85.3	84.5
	26	学校は、生徒の健康を維持するために必要な情報提供や指導に十分取り組んでいると思いますか。	84.6	86.2	87.0
	27	学校は、悩みがあったとき、親身に相談に乗ってくれますか	79.7	80.2	78.6
図書教育情報	28	学校は、ホームページを積極的に運用し、情報を公開していると思いますか。	60.4	68.0	67.6
	29	学校は、個人情報の保護や情報モラルの指導を十分行っていると思いますか。	86.2	89.8	87.5
	30	学校は、図書資料を充実させ、生徒の学習活動を積極的に支援していると思いますか。	82.5	84.9	78.6

令和6年度 保護者による学校評価アンケート

令和6年12月実施

※数値はA「とてもそう思う」B「まあまあ思う」の合計%

項目	番号	評価内容	R06	R05	R04
学校経営・総務	1	学校は、教育目標や教育方針について、十分説明していると思いますか。	82.2	79.4	74.8
	2	学校は、学習や行事などの教育活動の様子について、十分説明していると思いますか。	80.9	72.3	68.2
	3	学校は、学校のよさや特色を十分説明していると思いますか。	78.2	69.7	65.8
	4	PTA活動を通して、保護者と教師との相互理解や連携は深まっていると思いますか。	59.1	54.3	54.4
	5	学校は、保護者や地域の意見を十分聞いて、学校経営に取り入れていると思いますか。	64.7	62.3	60.9
	6	学校は、事故や災害、伝染病など万が一の場合に対応する危機管理体制を整えていると思いますか。	80.2	85.3	78.8
H R 経営	7	教師は、人間関係を大切にし、いじめのないクラスづくりをしていると思いますか。	69.0	70.6	71.1
	8	教師は、規律あるクラスづくりをしていると思いますか。	77.9	78.2	77.3
	9	教師は、生徒の人権を尊重し、誰にでも公平に接していると思いますか。	69.3	71.1	69.3
	10	教師は、生徒や保護者からの相談に適切に対応していると思いますか。	78.2	80.1	79.2
	11	教師は、クラスの問題行動や不登校などに適切に対応していると思いますか。	58.7	60.7	61.8
	12	教師は、学習や行事に対して生徒の意欲を高める指導をしていると思いますか。	76.9	72.3	73.5
学習指導	13	教師は、授業において生徒の学力を高めるために、指導方法を工夫していると思いますか。	62.7	59.0	61.5
	14	教師は、生徒の学力を把握し、一人一人にきめ細かい指導をしていると思いますか。	59.1	57.1	56.6
	15	教師は、取り組みやすい内容や量の課題を与え、生徒の家庭学習を促していると思いますか。	64.0	63.3	64.0
進路指導	16	学校は、進路指導の計画や内容を分かりやすく説明していますか。	80.5	74.6	72.1
	17	学校は、進路実現のために必要な資料や情報を十分提供していると思いますか。	73.3	73.9	67.5
	18	学校は、面談や補習、模試等を充実させ、生徒の進路実現に十分取り組んでいると思いますか。	84.5	82.7	81.2
	19	学校は、様々な進路活動を通して、働く意義や学ぶ意義を考えさせる指導をしていると思いますか。	78.5	71.1	69.1
生徒指導	20	学校は、生徒に生活のルールを守らせるための指導に十分取り組んでいると思いますか。	78.9	80.8	77.2
	21	学校は、いじめなどの問題行動を未然に防止し、解決に向けて適切に対応していると思いますか。	54.1	54.0	54.9
	22	学校は、生徒の安全を守るため、注意喚起や巡回指導等に十分取り組んでいると思いますか。	78.5	82.7	72.9
特別活動	23	学校は、生徒が充実した学校生活を送れるような学校行事を計画し、実施していると思いますか。	83.2	85.5	76.6
	24	学校は、生徒に達成感を抱かせるような部活動の指導に取り組んでいると思いますか。	70.6	67.8	67.6
教育保健・相談	25	学校は、校舎内外の整備や美化活動に十分取り組んでいると思いますか。	78.2	79.1	76.5
	26	学校は、生徒の健康を維持するために必要な情報提供や指導に十分取り組んでいると思いますか。	71.9	78.4	75.9
	27	学校は、不登校や悩みなどに親身に対応し、教育相談体制も十分確立していると思いますか。	53.8	79.1	53.5
教育情報・図書	28	学校は、ホームページを積極的に運用し、情報を公開していると思いますか。	68.6	63.7	64.5
	29	学校は、個人情報の保護や情報モラルの指導を十分行っていると思いますか。	76.2	76.8	73.2
	30	学校は、図書資料を充実させ、生徒の学習活動を積極的に支援していると思いますか。	57.8	52.4	59.2

令和6年度 学校評価アンケート 保護者の自由記述に対する回答

角館高等学校全日制過程

項目	自由記述	回答
学校経営 総務	トイレは外部の方が清掃していると聞いていますが、トイレの壁のほこりやカビが気になります。	学校施設は、生徒が1日の大半を過ごす学習・生活の場であることから、適切な環境を保つことが重要です。トイレのみならず、学校施設全般の環境向上、適切な維持管理に努めます。同時に、快適な環境を維持し、長く使い続けるために、学校施設を大切に使うことの呼びかけについても生徒に向けて行っていきます。
学習指導	教科によっては、他のクラスと違った授業の仕方のため、勉強が分からないことがあります。学び合いという、生徒同士のグループワークがあるようですが、先生からの授業がなく、テスト前などはとても難儀しています。生徒に寄り添った対応、授業内容を望みます。	急激に変化する時代の中で、必要な資質・能力を育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められています。校内研修や相互の授業参観を実施し、職員同士による指導方法の提案や情報共有を行うなど、職員一人一人が自己変革を意識しながら組織的に授業改善に取り組めます。
進路指導	様々な進路を選択している中、親身になってくださり本当にありがとうございます。進路先が決まるまでどうかよろしくお願い致します。	本校では様々な進路希望に応じた進路指導を行っています。就職希望者には職場見学や企業紹介、就職ガイダンス等を実施するなど、就職支援員と連携しながら、生徒が様々な職種の中から自分に合った仕事を選択できるような取組を行っています。進学希望者には大学模擬講義、大学訪問、進路講演会等の実施。受験前にはチューター制を活用し、添削指導、面接対策、小論文対策等、一人一人の生徒へきめ細やかな指導を行っています。
生徒指導	角館のお祭りにもっと参加しやすくすることはできないでしょうか。お祭りを通して、子どもたちが地域愛や自らの存在感を実感できます。地域に根ざした高校であり続けるために、学校をあげてお祭りへのご理解をいただきたいです。	今年度、角館のお祭りには、全校のおよそ1/3の生徒が曳山・お囃子・踊りで参加し、地域の伝統文化継承の一役を担いました。学校は、地域社会の中でその役割を果たし、地域と共に発展していくことが重要であることから、お祭りを含めた学校と地域との連携・協働の推進について検討を図ります。